

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 22 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2012 年 2 月 9 日 (木) 13:30~16:45
2. 場 所 (独)原子力安全基盤機構 新館(虎ノ門タワーズオフィス)13 階 13B 会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 鈴木 (主査), 渡邊 (副主査), 文能 (幹事), 石井, 中川 (矢野代理),
田畑 (猿渡代理), 田村, 西山, 萬年, 大城戸, 三山, 稲垣 (山田代理),
新井, 松本 (松浦代理), 遊佐, 中野, 望月, 一森 (18 名)
(欠席委員) 大木, 橘高, 青山, 皆川, 下家 (5 名)
(常時参加者) 鈴木, 川内, 本田, 中村
(傍聴者) 大崎, 副島
(事務局) 不在
4. 配布資料
資料P14SC-22-1 第21回PLM分科会議事録 (案)
P14SC-22-2 人事について (案)
P14SC-22-3-1 PLM実施基準2012年版 (追補3) の標準委員会決議投票結果
P14SC-22-3-2 PLM実施基準2012年版 (追補3) の標準委員会決議投票対応 (案)
P14SC-22-4 東日本大震災 (福島事故) に係るPLM標準への反映の検討状況について (案)
P14SC-22-5-1 PLM実施基準本格改定の課題整理表
P14SC-22-5-2 附属書C.5 熱時効の改定案
P14SC-22-5-3 附属書C.8 コンクリートの強度低下及び遮へい能力低下の改定案
P14SC-22-5-4 PLM実施基準本格改定案 (附属書A ; 耐震安全性評価まとめ表、高経年化技術評価不要の条件)
P14SC-22-5-5 高経年化技術評価不要の条件案
P14SC-22-5-6 PLM実施基準本格改定案 (附属書D ; 耐震安全性評価まとめ表の使用
方法, 評価方法の具体化) (P14SC-21-5-7 別紙 Rev.1を添付)
P14SC-22-5-7 PLM実施基準本格改定案 (前回分科会資料) の意見集約表 (P14SC-
21-5-4 Rev.1を添付)
P14SC-22-6 PLM実施基準本格改定のスケジュール

5. 議事

会議に先立ち、出席委員は代理を含めて 18 名（うち 1 名は今回選任、1 名は遅れて出席）で、定足数を満足している旨確認した。

(1) 前回議事録確認 (P14SC-22-1)

文能幹事より、第 21 回 PLM 分科会議事録（案）が確認され、承認された。

(2) 人事 (P14SC-22-2)

- ・委員の新任

新委員として東芝の一森氏が推薦されている旨説明され、審議の結果新委員として選任された。

(3) PLM実施基準2012年版（追補3）の標準委員会決議投票結果及び対応 (P14SC-22-3-1,2)

文能幹事より、PLM 実施基準 2012 年版（追補 3）の標準委員会決議投票の結果、その他意見が 2 件あったが可決されたことが報告された。

- ・資料に基づき標準委員会決議投票対応及び分科会気付き事項について説明され、以下の点を除き了承された。
- ・その他意見 No.4 の機器名称（常非常用送風機）の件は、西山委員にて再確認する。（後日、間違いがないことを確認済み）

(4) 東日本大震災（福島事故）に係るPLM標準への反映の検討状況について (P14SC-22-4)

文能幹事より資料が説明され、附属書 C 改定素案の事象別の検討分担に従って、I-GALL, JNES 研究成果, SCAP, PLIM, 福島事故意見聴取会の知見の反映検討の依頼があった。反映検討については、事象別に分担するのではなく、各項目について全体を見渡して検討する必要がある、各項目ごとに以下のとおり分担することになった。

- ・I-GALL：JNES にて検討状況を次回分科会（5 月）で紹介する。
- ・JNES 研究成果, NISA 事業：文能幹事にて課題を整理して、JNES にて確認した後、各事象担当委員にて検討する。
- ・SCAP：JNES にて検討する。
- ・PLIM：PLIM 参加予定の事業者委員にて検討する。
- ・福島事故意見聴取会：西山委員にて検討する。

(5) PLM 実施基準本格改定 (P14SC-22-5-1~7)

各資料が確認され、それぞれ担当委員間で検討を進めることになった。

・ 本格改定課題抽出整理表 (P14SC-22-5-1)

資料が確認され、No.17 附属書 D の件について、次回分科会で方針を審議することを記載することになった。

・ 附属書 C.5 熱時効 (P14SC-22-5-2)

資料が確認され、解説 C-5-4 熱時効の評価機器・部位の抽出フローの根拠を解説で

示す検討を行うことになった。また、過去の PLM 評価結果の整理について、評価条件であるフェライト量と応力をグラフで示すなど説明性を良くする検討を行うことになった。

- ・ 附属書 C.8 コンクリート (P14SC-22-5-3)

資料が確認され、まとめ表修正案について、PWR の鉄骨の風などによる疲労は不要ではないかとの意見及び BWR のコンクリートの放射線照射による強度低下の対象部位が多くないかとの意見があったが、何れも高経年化技術評価結果に基づくものであり問題ないことが説明された。

- ・ 附属書 A 及び附属書 D (耐震まとめ表、高経年化技術評価不要の条件及び耐震評価方法) (P14SC-22-5-4~6)

資料が確認され、耐震まとめ表を作成することになった元々の理由の記載を検討することになった。また、本格改定後の評価フローについて、耐震まとめ表を使用した評価のフローとすること及び発生の可能性の有無による分岐の追加を検討することになった。

- ・ PLM 実施基準本格改定案 (前回分科会資料) の意見集約表 (P14SC-22-5-7)

資料が確認された。

(6) その他

- ・ 本格改定スケジュール (P14SC-22-6)

2012 年 11 月の専門部会中間報告を目標として、2012 年 8 月頃までに規格改定案の分科会審議が一とおり終わるように、各担当者間で規格案の作成を進めることが確認された。ただし、法改正の状況に応じて見直すこともあると専門部会で報告する。(なお、資料に記載のある 2012 年度の附属書 A 追補の審議はなし。)

6. 今後の予定

次回分科会は、5 月 22 日 (火) に JNES にて開催予定となった。

以 上